

## Nurse-ful !! ニュースレター

大分県看護連盟では平成20年から青年部（当初は若手委員会）が発足し、若い世代の看護職が“政治と看護”について理解できるように活動をしています。この活動の一環でニュースレターを作成しています。発行は4回/年を予定しています。私たちの活動を通じて、看護(Nurse)の楽しさがあふれる(joy-ful)環境を作りたい！そんな願いを込めています。

### 【看護職代表の国会議員】

－ 参議院 －  
たかがい恵美子



石田まさひろ



－ 衆議院 －  
あべ俊子



# 〔大分県看護連盟青年部〕 Nurse-ful !! ニュースレター

【第7号】  
2014年6月発行

## ベッドサイドから政治を変える!!

Aさんは手術後の創部の痛みを訴えました。看護師は医師が事前に出していた鎮痛剤の指示を確認してAさんの痛みに対応できました。Bさんも手術後の創部の痛みを訴えました。しかし、Bさんには事前鎮痛剤の指示は出ていませんでした。看護師が鎮痛剤の指示を医師に確認している間、Bさんは痛みを我慢し続けなければなりません。

これは例え話です。しかし、現実起こりえる話です。

現在の保健師助産師看護師法では、医師の具体的な事前の指示がなければ看護師の判断で鎮痛剤を使用する事はできません。もし、患者さんの状態の変化があらかじめ予測されている状況で具体的な事前の指示がなくても看護師の判断により鎮痛剤の使用ができるようになったら、患者さんは無用な痛みの我慢をせず、早期に元のADLを獲得して早期退院につながるかもしれません。

### 法律を変える国会に看護職の代表を！

しかし、これらを実現するには、法律の改正が必要です。すでに、このような高度な判断と実施ができるような研修を修了した看護師はいます。あとは法律が改正されれば、これらの研修を修了した看護師が、いまよりもっと患者さんの状態の変化に合わせた看護が提供できるようになります。

法律を改正するのは国会です。国会に私たち看護職の代表である国会議員がいることが、患者さんへの適切なケアの提供を可能とします。

“ベッドサイドから政治を変える” 看護連盟のスローガンです。

